

## 令和7年度 長崎県立長崎東中学校・長崎東高等学校 学校関係者評価

### 1. 評価の実施期日

令和8年2月9日(月)

### 2. 学校関係者評価委員

学校評議員5名による兼務(5名中5名出席)

### 3. 学校関係者評価の内容

#### (1) 学校現況報告

学校行事実施状況、生徒募集について、新たな学び推進部活動計画、中高部活動状況 等

#### (2) 学校評価説明

3つの評価分野ごとに、評価項目および成果と課題などを確認

#### (3) 委員からの意見など

##### ●職員の支え合い

関連する数値が年々低下している点について、職員が十分な余裕やゆとりの時間を確保することの重要性が指摘された。また、転勤者から他校の取組を聞き取り、それらを柔軟に取り入れながら改善を進める方法について助言をいただいた。

##### ●政治への関心

18歳選挙権を踏まえた主権者教育の重要性が議論された。探究学習を通して育まれた「他者を意識する姿勢」を、実際の投票行動につなげることが期待されている。

また、期日前投票が可能な車などの存在を踏まえ、学校としてそのような機会を創出し、生徒の政治への関心や参画意識、権利を大切にす姿勢を育むことの有効性について指摘があった。

さらに、大学生は住民票を移していないことから投票に行かない傾向があること、諸外国では選挙制度に課題を抱える国もある一方、日本では投票の権利が平等に保障されている点が共有された。若い世代にはぜひ選挙の大切さを理解してほしいこと、卒業後は移り住んだ地域をよく理解し、その地域課題への参画意識をもつことを伝えるべきであるとの意見をいただいた。

##### ●スマホ利用

家庭における責任ある利用(例:21時以降の利用制限など)と、学校におけるモラル指導の重要性が改めて確認された。

##### ●挫折への寄り添い

活躍する生徒だけでなく、「挫折」を感じている生徒への丁寧なアプローチ、またリーダーを支える「サポート役」の価値を理解させる視点が重要であるとの指摘をいただいた。

##### ●実社会とのつながり

地域の地図アプリの活用など、身近な題材を用いた探究の有効性が示された。加えて、IT分野だけでなく「実務的な仕事」への理解も含めた多様な進路指導の必要性について提案があった。